

ICT奥能登「絆」づくり協議会の第3回総会&記念講演会を開催（1/2）



会長（泉谷珠洲市長）挨拶



総会の模様

ICT奥能登「絆」づくり協議会（以下、「協議会」。）は、平成25年6月28日（金）に石川県奥能登総合事務所において、第3回総会を開催しました。

総会では、協議会会長の泉谷満寿裕 珠洲市長の挨拶の後、平成24年度活動報告、平成25年度以降の活動計画（案）の提案がなされ、満場一致で承認されました。

平成24年度活動報告の中で観光部会及び高齢者見守り部会の取組状況の報告があり、観光部会長の大藪多可志 金沢星稜大学教授から、3月4日から取り組んでいる奥能登スマート観光プロジェクトについて、これまでに約二千人の利用があったことや5月23日の体験バスツアーと5月29日～30日の世界農業遺産国際会議におけるデモ展示の際に実施したアンケート調査で7割の方から高い評価が得られたことなどの報告がありました。

また、高齢者見守り部会長の北浜陽子 輪島市福祉環境部長から、部会参加企業等の協力により高齢者見守りシステムメニュー集が取りまとめられたことなどの報告がありました。

今後は、ICTを活用した観光情報提供サービスや高齢者見守りシステムについて、事業主体、事業費、利用環境、自立的・持続的な運営モデル等を含め、引き続き調査・検討を行っていくこととしています。

ICT奥能登「絆」づくり協議会の第3回総会&記念講演会を開催（2/2）



（講師） 総務省情報流通行政局
情報通信利用促進課長 佐藤 安紀 氏



（講師） 南砺市長 田中 幹夫 氏

第3回総会に引き続き、高齢者見守り及び観光振興に関する記念講演会を開催し、約70名の参加がありました。

総務省情報流通行政局 情報通信利用促進課の佐藤安紀課長から「ICT超高齢社会構想会議報告 ～『スマートプラチナ社会』の実現～」と題して、総務省が平成24年12月から開催してきたICT超高齢社会構想会議から出された基本提言や報告書の概要説明がありました。

また、南砺市長 田中幹夫 様から「恋旅Nantoプロジェクト」の事例紹介をいただき、南砺市城端地域を舞台に描かれた青春アニメ「トゥルーティアーズ」をきっかけに、ホワイトスペース特区におけるエリア放送事業とスマートフォン専用アプリ“恋旅”を組み合わせた情報提供に取り組んだことにより、普段若い観光客が訪れることが少なかった地域にも若者の歩く姿が多く見られるようになるなど全国からの訪問者数が大幅に増え、また、さらには南砺市に連泊するなどのリピーターも増加したことなどの紹介がありました。

©KOITABI～True Tours Nanto
映像制作：P.A.WORKS
映像提供：南砺市

